

令和5年度 学校評価 評価結果

松戸市立旭町中学校

1 学校評価アンケート集計結果

(1)学校評価アンケート回答数

生徒アンケート回答数 236(88.4%) 教職員 19
 保護者アンケート回答数 177(66.3%) 地域の方 15

(2)項目別アンケート結果(評価平均) 上段：R5 下段：R4

【評価】 4…そう思う 3…ややそう思う 2…あまり思わない 1…そう思わない

	評価項目	生徒	保護者	地域	教職員
1	学校は、一人ひとりを大切にし、生徒や保護者の願いに応えようとしている。	3.31 3.18	3.18 3.09	3.63 3.8	3.63 3.75
2	学校は、学校行事や部活動が盛んで、生徒は意欲的に取り組んでいる。	3.42 3.21	3.19 3.13	3.53 4.0	3.37 3.25
3	学校は、授業や行事の参観機会を設けたり、ホームページ更新や学校だよりを配布したりするなど、積極的に家庭や地域に情報発信をしている。	3.42 3.24	3.29 3.19	3.77 3.83	3.79 3.55
4	学校は、清掃が行き届き、掲示物などを含めた学習環境が整えられている。	3.32 3.23	3.25 3.14	3.77 3.83	3.21 3.25
5	学校は、生徒の安全や健康面に配慮し、生徒の安全安心な学校づくりをしている。	3.44 3.33	3.24 3.19	3.5 3.6	3.63 3.60
6	学校は、家庭学習の定着と充実に向けて、情報発信や適切な量の課題設定をしている。	3.25 3.14	2.93 2.87	3.38 3.33	3.00 3.30
7	学校は、生徒を自分の考えをしっかり持ち、その考えを相手にわかりやすく伝えられる子どもに育てようとしている。	3.31 3.16	3.03 2.97	3.55 3.6	3.42 3.35
8	教職員は、授業のねらいを明確にし、わかりやすい授業をしている。	3.37 3.23	2.97 2.91	3.27 3.67	3.42 3.65
9	教職員は、個に応じた学力を把握し、適切な学習支援を行っている。	3.24 3.27	2.90 2.80	3.29 3.8	3.05 3.35
10	教職員は、生徒の主体的な学びを促し、学習意欲や学力を向上させている。	3.35 3.22	2.93 2.85	3.2 3.67	3.21 3.30
11	教職員は、ICT機器を活用し、生徒の情報活用能力の育成やICTを活用した学習活動の充実を図っている。	3.52 3.39	3.06 3.01	3.43 4.0	3.47 3.45

12	教職員は、生徒とよく関わり、学校生活すべてにおいて熱意を持って指導している。	3. 3 9 3. 2 8	3. 0 8 3. 0 0	3. 5 6 3. 6	3. 3 7 3. 5 5
13	教職員は、生徒の悩みや相談に応じて適切に指導している。	3. 2 9 3. 1 8	3. 0 1 2. 9 1	3. 3 3 4. 0	3. 4 7 3. 5 5
14	教職員は、思いやりや生命の尊重など心の教育を積極的に進めている。	3. 3 3 3. 2 1	3. 0 5 2. 9 7	3. 2 2 4. 0	3. 4 7 3. 5 0
15	教職員は、いじめや暴力など間違っただ行動に対してしっかりと指導している。	3. 5 3 3. 3 3	3. 0 5 3. 0 1	3. 3 3 3. 5	3. 6 3 3. 8 0
16	家庭では、しつけや基本的な生活習慣をしっかりと指導している。	3. 5 3 3. 4 5	3. 0 1 2. 9 9	2. 7 5 3. 5	2. 7 9 3. 0 5
17	家庭では、生活のけじめをつけ学習習慣が定着させられている。	3. 4 1 3. 3 5	2. 7 2 2. 6 7	3. 0 3. 5	2. 6 8 2. 7 9
18	家庭では、携帯電話などの使い方についての約束事やモラルをしっかりと指導できている。	3. 3 3 3. 2 5	2. 8 4 2. 8 8	2. 0 3. 0	2. 2 1 2. 6 8
19	旭町中に入学してよかったと思う。	3. 5 0 3. 3 5	3. 3 1 3. 2 8	3. 6 7 4. 0	3. 0 6 3. 3 3
20	「主体的に学習に取り組む力」が身に付いたと思うか。	3. 1 3 3. 0 6	2. 7 1 2. 6 3		2. 8 4 2. 7 5
21	「課題を自ら見つけ、思考・表現し、解決する力」が身に付いたと思うか。	3. 2 5 3. 0 7	2. 7 3 2. 7 3		3. 1 1 2. 8 5
22	「身に付けた知識や技能を活用する力」が身に付いたと思うか。	3. 3 3 3. 1 8	2. 8 0 2. 7 7		3. 0 5 3. 0 0

2 学校評価 評価結果（まとめ）

(1) 学校運営に関して 【評価項目 1、2、3、4、5、12】

すべての評価項目において、「おおむね良好」と評価できる評価3点を上回った。生徒・保護者においては、昨年度の結果よりも評価が高い。学校運営全般は良好な状況であると判断できる。

ア 【項目1 学校満足度】については、3.1以上と高い評価となった。一方で、教職員の評価は、昨年度を下回っている。生徒や保護者からの多様なニーズをしっかりと把握し、生徒一人ひとりの学校生活が充実したものとなるような学校運営を継続していく。

イ 【項目2 特別活動】については、学校行事や部活動の大会等、コロナ禍以前と同じように取り組むことができ昨年度よりも高い評価となった。教師と生徒、生徒同士の関わりがこれまで以上に増え、「達成感」「自己有用感」につながったと考えられる。また、キャリア教育では、地域の方々を講師とした授業も展開した。今後も体験活動を通して生徒の自主性や主体性を育む機会として、内容・方法を工夫していきたい。

ウ 【項目3 開かれた学校】については、全ての評価者から3.2以上の高い評価となった。授業や行事の参観が増え、学校ホームページでの学校生活の様子も毎日更新している。また、3年ぶりのバザー開催にあたり、保護者や地域の方々にも多くのご協力をいただいた。今後も、より保護者・地域に「開かれた学校づくり」を目指していく。

エ 【項目4 学校環境】については、学校経営4本柱の一つである「真剣清掃」できれいな学校が維持されていると考えられる。ボランティア活動として花壇の整備、校庭の落ち葉掃きなどの活動も成果をあげられる。一方、学習用具をしまえる場所（机・ロッカー）が少ないという声もあることから学年・学級学校全体で学習環境を整備できるように引き続き取り組んでいきたい。

オ 【項目5 安心・安全】については、生徒、教職員の評価で3.4を越え、昨年度よりも高い評価となった。感染症拡大防止対策や安全管理の取り組みが評価されたものと捉えることができる。3学期の避難訓練では不審者の対応の方法も学んだ。学校が安全で安心な場所であることは、生徒の健やかな成長につながる前提条件となる。生徒の安全意識を高めながら、引き続き継続していきたい。

カ 【項目12 生徒と教職員の関わり】については、生徒・教職員は概ね高いと判断できる。一方で、保護者の評価は両者に比べやや低い結果となっている。さらに教職員においては昨年度の評価を下回った。日々の声かけ、励まし、叱咤、賞賛、対話など個と集団への働きかけが大切だということ、自信を持って指導していけるよう改めて確認する。全ての教職員が生徒一人の主体的な学びを支援する伴奏者となれるよう謙虚な姿勢で指導していきたい。

(2) 学習指導に関して 【評価項目6、7、8、9、10、11、20、21、22、】

学習指導・学習成果に関する評価項目において、生徒の評価が3.1以上と高く昨年度の評価を上回った。資質・能力の育成のための授業力の向上と保護者との情報共有及び協力体制の構築が課題である。

ア 【項目6 家庭学習】については、各教科からの課題に主体的に取り組んでいる生徒が多い。一方で定期テスト前の提出物に関しては、課題が多すぎるといった意見もいただいているため適切な量か再考していく。学習内容の定着には、家庭学習は欠かせない。粘り強く取り組む姿勢が持てるよう、学校全体で支援していく。

イ 【項目7 言語活用科の取り組み】については、生徒、教職員が3.3以上と成果をあげていると言える。言語活用科は、もとより各教科指導において、調べ学習やまとめでプレゼンテーション積極的に行うなどアウトプットする機会を設定している。「自分の意見をわかりやすく伝えることができる」「相手の伝えようとしていることを理解することができる」生徒の育成を引き続き目指していく。

ウ 【項目8、9、10 授業】については、生徒、保護者の評価が昨年の結果を上回り、概ね良好な評価を得られた。今年度は、全学年の数学T・T授業、英語のT・T授業など個に応じた指導の充実を図ってきた。しかしながら、「学力を伸ばして欲しい」「勉強がわからない」などの意見も見られる。多様なニーズに応えられるよう、教員の授業力アップを推進させていきたい。

エ 【項目11 ICT活用状況】については、生徒、教職員が3.4以上で昨年度の評価を上回る高い評価となった。「ICTを文房具として活用する」という研究課題にもと主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に積極的に取り組んでいる。学校全体でデジタル・シティズンシップ教育を進め、生徒一人ひとりの情報活用能力や情報モラルの育成ができるよう、さらに推進させていきたい。

オ 【項目20 主体的に学習に取り組む力】【項目21 課題を自らみつけ、思考・表現し解決する力】【項目22 身に付けた知識や技能を活用する力】については、新学習指導要領が掲げる目標であり、これからの社会を生き抜く生徒に必要な力である。どの項目も昨年度の結果を上回り、概ね良好な評価を得られた。「個別最適な学び」と「協働的な学び」実現させるために教職員の研修を充実させていく。

(3) 生徒指導に関して 【評価項目13、14、15】

生徒指導に関する評価項目において、生徒・保護者の評価は良好だと判断できる。生徒指導は、学習指導と並んで学校教育において重要な意義を持つものと言える。生徒理解に努め、丁寧な指導を継続していく。

ア 【項目13 教育相談】については、生徒、教職員の評価で3.0を越え、概ね良好な評価を得られた。教育相談週間の担任との面談だけでなく、学年職員や部活動の顧問、スクールカウンセラーも含め全教職員で相談できる体制を構築している。

イ 【項目14 心の教育】については、道徳は学年体制で授業を実施したり、ICT活用で考えを深めている。互いに認め合い・励まし合い・支え合える集団づくりは、とても大切である。地域の人や他者と触れ合う機会を積極的に設け、今後も学校生活すべてにおいて心の教育を行って行きたい。

ウ 【項目15 いじめへの対応】については、生徒の評価が昨年度の評価を大きく上回った。担任との生活記録ノートをはじめ日常の観察を丁寧に行い未然防止に努めるとともに、「WEBQU」や「学校生活アンケート」で積極的な認知を行ってきた。全教職員総がかりでいじめ防止に取り組み組織的に対応することを継続させていく。

(4) その他 家庭での生活に関して【項目16 17 18】

家庭での生活に関しての評価項目において、生徒・保護者ともに昨年度を上回る結果となった一方で教職員の評価は下がった。依然として「生活のけじめ」「学習習慣の定着」「携帯電話の使い方」が課題である。生徒に「自己指導能力」を身に付けさせることができるよう、学校と家庭が連携して指導していく。

3 成果と課題（学校評価のまとめ）

学校評価の結果から、今年度本校の学校教育活動の成果と課題は以下のようにまとめられる。

(1) 成果（生徒・保護者が共に3. 2以上の項目）

- ア 学校は、授業や行事の参観機会を設けたり、ホームページ更新や学校だよりを配布したりするなど、積極的に家庭や地域に情報発信をしている。
- イ 学校は、清掃が行き届き、掲示物などを含めた学習環境が整えられている。
- ウ 学校は、生徒の安全や健康面に配慮し、生徒の安全安心な学校づくりをしている。
- エ 旭町中に入学してよかったと思う。

(2) 課題（生徒・保護者のどちらかが2. 8以下の項目）

- ア 「主体的に学習に取り組む力」が身に付いたと思うか。
- イ 「課題を自ら見つけ、思考・表現し、解決する力」が身に付いたと思うか。
- ウ 「身に付けた知識や技能を活用する力」が身に付いたと思うか。
- エ ※家庭では、生活のけじめをつけ学習習慣が定着させられている。

(3) 来年度に向けて

昨年度から、アンケートの集計結果を点数化し、生徒・保護者・地域・教職員がどのように評価しているかがわかりやすくなるようにした。今年度は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行され、これまで制限の多かった教育活動が平常にもどりつつある1年だったせいか、各項目で評価が高くなったと感じる。

学校全体では、生徒一人ひとりが、前向きな学校生活を送って行事や部活動にやりがいを持っていると言える。3年ぶりに開催されたバザーは、1学期から学年代表会が打合せを重ね、長期間準備をし、生徒ボランティアやたくさんの地域の方々のご協力のおかげで大成功を収めることができた。この活動を通して改めて「チーム旭町」として子ども達を育てていくことの大切さを実感するとともに、より一層保護者・地域との連携を深めていきたいと考える

課題としてあげられる「学力」に関しては、教職員の評価が昨年度より軒並み下がる結果となった。まずは、多種多様な業務の中でも教員の本業である「教科指導」のために、研修や教材研究の時間を捻出できるように努めていきたい。各教科では、新学習指導要領が目指す資質・能力を育むことを念頭に置きつつ、生徒の実態に応じて「わかった、できた」という成功体験・達成感を味わえる授業づくりを進めていく。重点としている「情報活用能力」は、「使ってみる」という視点を卒業し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」が実現できるよう努めていく。

最後に、本校は「青少年健全育成会」をはじめ、地域・保護者の多くの方々に支えられ学校運営を行うことができました。励ましのお言葉や温かい声援をいただきましたことを心より感謝申し上げます。アンケート結果とお寄せいただいたご意見を参考に、現状に甘んじることなく信頼される学校づくりに努めてまいります。今後ともご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。